



# 自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年9月4日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

～暑中見舞大作戦②～ たくさんのお礼状をありがとうございます。電話も2本ありました。

前略 ごめん下さい

暑中おみまいの葉書、ありがとうございました。ほんとうにきびしい日々が続いています。私個人の思いを言わせていただくと、私にも大切な孫が二人(中二と小四)が居ます。益城に住んでおり、先の地震では大変な被害に遭(あ)いました。校堂や校庭は避難の人々との同居でした。通学路はガレキの道で、長い間、学校の先生が家の近くまでむかえに来て送っていただきました。ついこの前の事の様です。

やっとおちつき平常を思わせる日が来たばかりでした。三月になってまもなくコロナで学校が休みになりました。中二の孫は、修学旅行を楽しみにしていましたが、今の状況ではどうなるのでしょうか。

私は南関北中の生徒で、南九州に行きました。たまたま鹿児島では、現 上皇様お二人が、当時皇太子で訪れておられ、妃殿下の側の道路に並んで手を振った事を50年近くたった今も思い出します。孫にも、中島そらさんにも、また皆様にもあたり前の楽しみ喜びを享受してほしいと思っています。

でも、こんな不可抗力な出来事に出遭ったとき、人はどう生き成長するのかという事も大切だとも思います。私はすでに高齢ですが有難いことに身体も特に問題ないため、介護施設で「おとしより」の介護をしています。なので「コロナ」には、とても神経質になって行動しています。雨ニモ負ケズ夏ノ暑サニモ、コロナニモ負けないようにしながら、いつか孫に修学旅行のおこずかいを渡せる日が来ることを楽しみにしています。

中島そら様、南関町喜ばせ隊の皆様方、どうかご自愛いただき益々の御健勝をお祈り申し上げます。乱筆乱文おゆるしく下さい。 かしこ

【上坂下在住の方】

喜ばせ隊の皆様

いつも優しいお便りをありがとうございます。おかげ様で私も毎日元気で喜んで日々を働かして頂いております。

これも皆様のおはげましのおかげと日々を感謝して暮らしていただいております。

ありがとうございます。

【宮尾在住の方】

体育大会テーマ「満開～色あせない絆」

【生徒会がテーマに込めた思い】今、様々な制限がある中で生活をしている南関中生全員が、3年生をはじめ、それぞれのクラスや学年で絆を深め、最後には一つになって欲しい、中学校生活の思い出となって欲しいという思いを込めて、このテーマにしました。

現状から実施できるプログラムを設定しての体育大会です。大会の成功に向けて3年生を中心に頑張っています。半日の開催ではありますが、生徒の一生懸命の姿を楽しみにしてください。

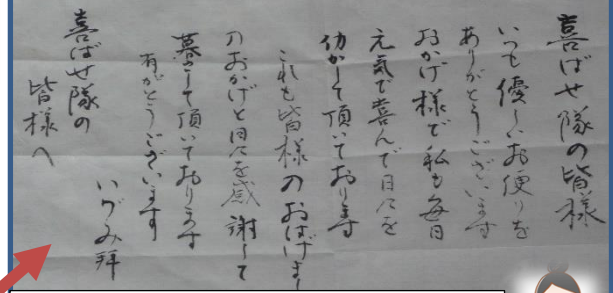


9月1日から、スクールサポートスタッフが町内の小中学校に配置されるようになり、放課後の消毒作業等を行っていただくようになりました。

これまで地域団体や保護者の皆さんにお世話になったお礼を申し上げるとともに、関係職員の配置についてお知らせします。

お知らせお礼

こちらの方は、孫のことや、自分の中学校時代の修学旅行の思い出などを、ていねいに書かれていたので、そのまま学校だよりで紹介してよろしいか不安になり、ご自宅に許可を得に行ったところ、掲載を快く承諾されました。ちょうど孫が修学旅行に行けるだろうかと悩んでいたときに、お孫さんと同級生の中島さんから暑中見舞が届いたので、うれしくなり長文になったとのことです。そのため、中島さんの名前が書かれています。



上手な筆字のお礼状です。私たちが方が有り難く感じるものでした。



これでお礼状の紹介を終わります。いただいたハガキ等は、コミュニティ広場に掲示しています。